

奄美群島振興交付金事業計画(R1～R4)の実績に関する評価(総括)

1 成果目標の達成状況

評価対象 事業数	成果目標 設定数					【参考】 達成+ おおむね達成
		達成	おおむね達成	未達成	達成度未定	
71	89 (100%)	26 (29%)	28 (31%)	26 (29%)	9 (10%)	54 (61%)

※ 「達成」…達成度100%以上, 「おおむね達成」…達成度70%以上100%未満, 「未達成」…達成度70%未満

2 評価結果

【達成度の判定】 ○(達成):100%以上, △(おおむね達成):70%以上100%未満, ×(未達成):70%未満

1	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花き除く) ②奄美群島から群島外に移出する農林水産物輸送量(花き) ③奄美地域における製造品出荷額				
	奄美群島農林水産物等 輸送コスト支援事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 3 年度		
			値(①)	55,436 t	55,512 t	34,509 t	62.2%	×
			値(②)	56,156 千本	56,156 千本	42,298 千本	75.3%	△
	値(③)	20,312 百万円	21,937 百万円	- 百万円		-		
事業実施年度	R 元 ~ R 5	評価	農林水産物等の輸送コストの支援により, 共同出荷を行う出荷団体の負担を軽減し, 出荷団体の生産設備の充実や安定的な販路の確保が図られた。					
事業主体	奄美群島12市町村	今後の取組方針	これまでの農林水産物の輸送支援に加え, 加工品の移出と移入する品目の原材料を移入する場合も当事業の補助対象とされたところ。今後さらに補助対象者の生産振興計画に基づいた取組が着実に実施され, 生産基盤の強化が図れるよう, 市町村等との連携を強化する。					
2	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数				
	①奄美群島誘客・周遊促進事業(R4～) ②奄美群島交流需要喚起対策特別事業(~R3)		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値(①航空)	381 千人	450 千人	371 千人	82.4%	△
			値(②航路)	145 千人	151 千人	82 千人	54.3%	×
	事業実施年度	R 元 ~ R 5	評価	対前年度比で135.8%増加し, 通年で371千人の交流が図られた。				
事業主体	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会	今後の取組方針	引き続き, 地元市町村や事業者と連携し, 本事業を通じた運賃軽減や広報宣伝等に取り組む。					
3	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美大島を除いた4島への入込客数				
	奄美群島周遊観光促進事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	225 千人	377 千人	271 千人	71.9%	△
			評価	世界自然遺産登録による観光客増加を奄美群島全体に波及させるため, 各島の魅力をPRするとともに, 旅行会社が造成・販売する奄美群島への旅行商品に対し, 割引助成を行い, また東京、大阪及び福岡地域の駅構内等のモニターにおけるメディア広告も実施した。				
	事業実施年度	R 4	今後の取組方針	観光による持続的なまちづくりを実現するため, 観光客の動態データの取得実証等を行い, 奄美大島だけでなく, 群島全体の観光客数を確保することで, 奄美群島全体の活性化を図る。				
事業主体	奄美群島広域事務組合							

番号	事業名		アウトカム指標	①対象路線における航空輸送旅客利用者数 ②対象路線における航路輸送旅客利用者数				
4	奄美・沖縄連携交流促進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
	値(①航空)		54 千人	64 千人	73 千人	114.1%	○	
	値(②航路)		75 千人	78 千人	43 千人	55.1%	×	
	事業実施年度	R 元 ~ R 5	評価	新型コロナウイルスの影響もあり、対令和元年度比は減少(航空:99.5%、航路72.8%)したが、対前年度比は増加(航空:158.3%、航路163.6%)し、計116千人の両地域の交流が図られた。				
	事業主体	今後の取組方針	引き続き、沖縄県や奄美群島市町村、事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。					
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							
番号	事業名		アウトカム指標	対象路線における航空輸送旅客利用者数				
5	奄美群島航空運賃軽減事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
	値		611 千人	721 千人	541 千人	75.0%	△	
	事業実施年度		R 元 ~ R 5	評価	新型コロナウイルスの影響により、対令和元年度比は減少(93.8%)したが、対前年度比は増加(126.6%)し、引き続き、奄美群島住民等の負担軽減が図られた。			
		事業主体	今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。				
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							
番号	事業名		アウトカム指標	対象路線における航路輸送旅客利用者数(離島割引の利用者数)				
6	奄美群島航路運賃軽減事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
	値		136 千人	136 千人	100 千人	73.5%	△	
	事業実施年度		R 元 ~ R 5	評価	コロナ禍後、利用実績は回復傾向にあり、奄美群島住民等の負担軽減が図られているものの、未だコロナ禍前の水準までは回復していない。			
		事業主体	今後の取組方針	引き続き、地元市町村や事業者と連携し、本事業を通じた運賃軽減に取り組む。				
	奄美群島航空・航路運賃軽減協議会							
番号	事業名		アウトカム指標	①葉にんにくの生産性向上(単収増加) ②島らっきょうの生産性向上(単収増加) ③奄美プラム(カラリ)の生産性向上(大玉系統の栽培面積拡大)				
7	農業創出緊急支援推進事業	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
	値(①)		710 kg/10a	920 kg/10a	- kg/10a		-	
	値(②)		700 kg/10a	900 kg/10a	- kg/10a		-	
	事業実施年度	R 元 ~ R 5	値(③)	25 ha	30 ha	33.8 ha	112.7%	○
	事業主体	今後の取組方針	葉にんにく及び島らっきょうのウイルスフリー種球の作出および増殖を行った。R5年度に現地供給予定のため、アウトカム指標の実績となる数値なし。奄美プラムは、大玉新系統の生産安定のための施肥試験および生育調査を行った。また、台木に穂木を接いで377本植え付けた(約2.0ha:18本/10aで積算)。					
	鹿児島県		葉にんにく・島らっきょうについては、R5年度に、ウイルスフリー種球由来の収量性を評価し、その後、現地に供給する予定。奄美プラムについては、引き続き、栽培技術確立に向けた各種試験・調査を行い、R5年度中に、栽培マニュアルを作成し、生産者等に配布する予定。					
番号	事業名		アウトカム指標	適期管理による単収の向上(kg/10a)				
8	さとうきび産地活性化事業(さとうきび機械導入支援事業)	成果目標及び達成状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	H24~H30の平均値	令和 5 年度	令和 4 年度		
	値		4,847 百万円	5,709 百万円	5,231 百万円	91.6%	△	
	事業実施年度		R 3 ~ R 5	評価	機械導入等の支援により、さとうきびの適期管理が図られ、目標達成ができた。			
		事業主体	今後の取組方針	さとうきびの効率的・安定的な生産体制を確立するため、引き続き、作業受託組織等を対象に機械整備等の支援を行う。				
	鹿児島県							

9	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ハブ咬傷者数				
	ハブ対策事業(ハブ駆除対策事業)		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	H19~H28の平均	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	55.7 人	45 人以下	43 人	達成	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	咬傷者数は43人で、目標を達成した。			
R 元 ~ R 5	ハブ咬傷者数55人以下を目標として、引き続きハブに関する情報提供に努めるとともに、ハブ個体群変動調査等を行い、ハブとの棲み分けの検討を進める。							
事業主体	鹿児島県							
10	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ハブ咬傷による死亡者数				
	ハブ対策事業(ハブ咬症対策事業)		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 26 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	1 人	0 人	0 人	達成	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	ハブ咬傷による死亡者の発生はなかった。			
R 元 ~ R 5	ハブ咬傷による死亡者発生0を目標とし、咬傷時に備え医療機関等へ抗毒素の配備を行う。							
事業主体	鹿児島県							
11	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数				
	世界自然遺産「奄美」保全・活用推進事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値(②)	85 人	160 人	161 人	100.6%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	世界自然遺産登録の1周年を記念したイベントを行い気運の醸成を図った。また、登録時に出された世界遺産委員会の要請事項への対応を取りまとめた報告書(保全状況報告書)を提出するとともに、世界自然遺産としての価値の維持や自然環境の保全と利用の両立を図るため、金作原など利用ルールの実運用や外国人利用者に奄美トレイルの理解を深めてもらうために情報発信媒体の英訳を行うなど利用促進に取り組んだ。			
R 4 ~ R 6	奄美大島、徳之島の世界自然遺産登録地域の適切な保全・管理に向けて、遺産としての価値の維持、自然環境の保全と利用の両立や気運の醸成など、必要な取組を推進する。							
事業主体	鹿児島県							
12	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	海面漁業の生産額				
	水産資源利用開発調査		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	10,170 百万円	10,382 百万円	- 百万円	-	-
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	評価時点では、令和4年度の実績額が集計できていないが、各種試験や技術開発を円滑に実施し、水産業振興が図られた。			
R 元 ~ R 5	地域特産種の資源増大や藻場造成、漁場予測技術の開発と効率的な操業支援に加え、未・低利用資源の加工品開発を継続し、奄美群島全体の水産業振興に寄与する。							
事業主体	鹿児島県							
13	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美自然観察の森利用者数				
	奄美自然観察の森整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 3 年度	令和 4 年度		
			値	15,686 人	20,000 人	12,207 人	61.0%	×
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	令和3年度予算の繰越で園路及び指示標識の工事を実施した。新型コロナウイルス感染症の拡大及び4月から9月までの工事に伴う閉園により、利用者数が減少したことから最終目標値の達成が困難となった。			
R 元 ~ R 4	令和4年10月8日のリニューアルオープン以降、地域内外の観光客等から利用されている。今後も龍郷町と連携しながら施設の利用促進に努めたい。							
事業主体	龍郷町							

14	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の宿泊観光客数				
	奄美パーク展示等リ ニューアル事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 4 年度	令和 3 年度		
			値	775 千人	810 千人	692 千人	85.4%	△
	事業実施年度	R 元 ~ R 5	評価	現在、奄美群島の宿泊観光客数は集計中である。奄美群島の観光客の来訪及び滞在の促進に貢献できるよう努めたい。				
事業主体	今後の取組方針		奄美大島が世界自然遺産に登録され、情報発信拠点施設としてより重要な施設となることから、引き続き着実に事業の推進を図る。					
	鹿児島県							
15	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島の農業産出額の増加				
	農業創出緊急支援事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	36,942 百万円	40,636 百万円	- 百万円	-	-
	事業実施年度	R 元 ~ R 5	評価	※統計数値が示されていないため達成度未定 新型コロナウイルスの影響により農業機械等の納入に遅れが生じ、前年度より繰越した事業の執行に努め、執行率は改善している。				
事業主体	今後の取組方針		引き続き、付加価値の高い農業の推進と台風災害に強い施設等を整備し、農業の生産基盤整備を図る。					
	市町村、営農集団等							
16	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	チャレンジ世代(20~44歳)人口				
	奄美群島成長戦略ビ ジョン実現事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	23,626 人	21,300 人	20,152 人	94.6%	△
	事業実施年度	R 元 ~ R 5	評価	令和5年度の目標を達成するためには、奄美群島の産業振興を図ること で、人材の確保が必要である。				
事業主体	今後の取組方針		ビジョン実現に向けた事業を積極的に展開していくことに加え、コロナ 禍の影響を考慮しながら取組を検討していく。					
	奄美群島広域事務組合							
17	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島における民間主導型の産業振興モデル構築に資する新規起 業及び新商品・サービスの累計創出件数				
	奄美群島民間主導型産 業振興モデル構築支援 事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	0 件	10 件	9 件	90.0%	△
	事業実施年度	R 4 ~ R 5	評価	島ちゅチャレンジ:募集件数42件 採択件数9件 事業完了9件 人材育成成果発表会運営:奄美群島で活躍する民間事業者等の事例発表を 行う「島サバクリエイティブGCD(ガンド)」を与論島にて開催した。 スタートアップ支援事業:クラウドファンディングサイト「奄美群島 with CAMPFIRE」を開設(2件起案、調達金2,081,300円)				
事業主体	今後の取組方針		奄美群島内の産業分野を超えた横断的な事業者連携による起業支援 体制を構築することで、奄美群島における民間主導型の産業振興モデ ルの充実化を図る。					
	奄美群島広域事務組合							
18	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島への入込客数の内、観光客数				
	奄美群島観光物産広域 連携事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	343,741 人	386,251 人	493,193 人	127.7%	○
	事業実施年度	R 元 ~ R 5	評価	旅行客数は回復傾向。今後も客数増加のため、物産展や旅行説明会 等の取組を進める。				
事業主体	今後の取組方針		引き続き、奄美群島観光物産協会と連携し、観光交流人口増加に向け た旅行喚起施策等及び物産面のブランディングを積極的に展開する。					
	奄美群島広域事務組合							

19	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	R元～R5年度の移住体験事業参加者のうち、移住した者の数				
	UIOターン支援体制構築事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	0 人	43 人	28 人	65.1%	×
	事業実施年度		R 元 ~ R 5	評価	令和4年度は、現地ツアーやオンライン交流、移住フェアへの出展等情報発信を行ったが、前年度より移住者数が増加しなかったため、目標達成にむけ対応を検討していく。			
事業主体	今後の取組方針	移住者・交流人口増加のため、都市部の移住・交流フェアへの参加や移住体験プログラムの周知、空き家対策の取組を行う。						
奄美群島広域事務組合								
20	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島認定エコツアーガイド数				
	奄美群島エコツーリズム推進事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	85 人	160 人	161 人	100.6%	○
	事業実施年度		R 元 ~ R 5	評価	奄美群島各島において認定エコツアーガイドを育成することにより、エコツーリズムの推進に資する人材の確保・育成に努めた。(認定:14名)			
事業主体	今後の取組方針	エコツーリズムの推進に資する人材の質的向上と量的確保、及び地域連携体制の強化を図るとともに、自然観光資源のモニタリングについて運用を本格化し、人為的影響による資源の状態の変化等を把握する。						
奄美群島広域事務組合								
21	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	増加する外国人観光客の受入を担う奄美群島地域通訳案内士研修の修了者数				
	奄美群島地域通訳案内士育成事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	107 人	186 人	185 人	99.5%	△
	事業実施年度		R 元 ~ R 5	評価	地域通訳案内士育成研修を修了した者を対象にスキルアップ研修を実施した。【受講者数】26名(英語20名、中国語4名、韓国語2名)			
事業主体	今後の取組方針	今後も世界自然遺産登録を見据え、外国人観光客に奄美群島の魅力を正しく伝えられる奄美群島地域通訳案内士の育成を推進する。						
奄美群島広域事務組合								
22	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美黒糖焼酎移出量				
	奄美黒糖焼酎販路拡大・人材育成事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年(暦年)	平成 30 年	令和 4 年	令和 4 年		
			値	7,385 kℓ	7,500 kℓ	7,005 kℓ	93.4%	△
	事業実施年度		R 3 ~ R 5	評価	黒糖焼酎の海外販路に向け、酒造組合や黒糖焼酎事業者等からなるワーキンググループを設置するとともに、米国での酒類の市場調査、ジャパンハウスロサンゼルスにおけるSavor Japanese Crafts Spirits!RECEPTIONでの黒糖焼酎ブース出展、海外バイヤー向けバーチャル蔵視察の実施及び、イタリアバイヤー招へい事業等の海外に向けてのPR活動を行った。			
事業主体	今後の取組方針	黒糖焼酎の海外販路拡大に向け、引き続きワーキンググループを運営、海外でのPR活動を行うなどにより海外販路の拡大や人材育成を行う。						
奄美群島広域事務組合								
23	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数				
	観光マスタープラン策定調査		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	556,716 人	950,000 人	685,944 人	72.2%	△
	事業実施年度		R 4 ~ R 5	評価	令和5年度で奄美群島の観光計画の策定に向けて、観光関係団体や民間事業者を対象に、ヒアリングや意見交換会を行った。また、奄美群島及び各島の観光関連の計画の調査、有識者による現地視察を行い、奄美群島全体で目指す観光振興の方向性、取り組むべき観光振興策や観光振興の課題等を把握した。			
事業主体	今後の取組方針	奄美群島の観光計画の策定し、持続可能な観光振興を図る。						
奄美群島広域事務組合								

24	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島全体における入込客数					
	観光拠点連携整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
			値	825,791 人	950,000 人	685,944 人	72.2%	△	
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	入込客数は回復傾向にあるが、目標達成には至らなかった。				
	R 元 ~ R 5				アフターコロナを見据え、今後も増加が見込まれている観光客を受け入れる体制作りのため、引き続き当事業で拠点施設の整備を進める。				
事業主体	奄美市外7町村								
事業主体									
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	佐仁地区休憩施設利用者数(トイレ・駐車場・広場)					
25	佐仁地区休憩施設整備		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度			
			値	0 人	3,000 人	0 人	0.0%	×	
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	令和4年度は本事業の着手年度であり、令和5年度中に完成予定である。				
	R 4				令和5年度中に竣工予定。 完成後は休憩施設利用者へ向けて佐仁地区の集落行事をはじめとする観光情報を発信し、笠利町西海岸及び北部地域の周遊観光促進を図る。				
事業主体	奄美市								
事業主体									
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美野生生物保護センター来館者数					
26	アマミノクロウサギ飼育 展示施設整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
			値	11,000 人	20,000 人	9,214 人	46.1%	×	
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	建築工事に着工した。併せて施設内で販売するお土産の商品開発を実施し、地域の民間業者と施設との繋がりができた。				
	R 元 ~ R 5				予算が確保され次第、展示工事の施工、施設の設備を整えながら管理運営協議会を設立し、飼育管理方法や研究、入館料など具体的な方針を定めていく。				
事業主体	大和村								
事業主体									
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	まほろば水と森公園(野生生物保護センター含む)への入込み客					
27	まほろば水と森公園地 区整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
			値(①)	0 人	18,000 人	- 人	-	-	
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	R4年度は、園地全体の改修設計を作成した。今後は順次工事を行っていく。				
	R 4 ~ R 5				令和5年度以降は隣接するクロウサギ保護飼育施設の整備状況とあわせて、順次整備していき、奄美大島の西側の新たな観光ルートを構築する。				
事業主体	大和村								
事業主体									
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	イベント開催数					
28	西郷小浜公園整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年(暦年)	令和 2 年	令和 5 年	令和 4 年			
			値	0 回	3 回	- 回		-	
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	R6年2月工事完了予定				
	R 4				県事業を活用して整備しており、町事業は完了しているが県事業箇所 の工事がR6年1、2月完了予定。整備完了後は西郷隆盛ゆかりのイ ベントのほか、島唄イベント等を企画し、活用を検討していく。				
事業主体	龍郷町								
事業主体									
番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	拠点施設の管理運営に係る運営推進事業受講者					
29	徳之島町観光拠点施設 整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
			年度	令和 3 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
			値	0 人	12 人	0 人	0.0%	×	
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	令和4年度について、ハード面では施設の設計や造成工事等を行い、 ソフト面では拠点施設管理運営計画を策定した。				
	R 4 ~ R 5				令和5年度について、ハード面では施設の整備や外構工事(一部)を行 い、ソフト面では管理運営を担う人材育成事業を行う。				
事業主体	徳之島町								
事業主体									

30	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論島への入込客数				
	大金久海岸環境整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
	R 3 ~ R 4		値	72,000 人	90,000 人	51,258 人	57.0%	×
	事業主体		今後の取組方針	評価	老朽化した既存遊歩道をゴムチップ舗装に改修整備し、併せて沿道不毛地帯の植栽を行った。舗装に関しては、長さ180m、幅1.5mとなっている。百合ヶ浜及び遊歩道散策による観光客の滞留増加を図るため、施設整備を推進することできた。			
与論町	一部未整備の箇所があることから、次年度でもゴムチップ舗装及び沿道不毛地帯への植栽を実施する。							
31	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	交流人口動態調査の結果における奄美大島観光の満足度(大変満足)のシェア				
	観光拠点連携情報発信事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	令和 元 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
	R 元 ~ R 5		値	59 %	63.5 %	45.5 %	71.6%	△
	事業主体		今後の取組方針	評価	前年度と同様に満足度は低下している。新型コロナウイルスの感染拡大により飲食店などでは島内客のみの営業を行うところも見受けられた。また、閉鎖している施設が多かったことも要因と考えられる。			
あまみ大島観光物産連盟	引き続き、満足度調査の項目(宿泊、食事、土産、交通、観光施設、自然景観、ホスピタリティ)ごとに分析、合同専門委員会を通して情報の共有を図り改善に取り組む。							
32	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美大島への入込客数				
	魅力ある観光立島促進事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	令和 2 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
	R 4 ~ R 5		値	311,000 人	420,000 人	414,798 人	98.7%	△
	事業主体		今後の取組方針	評価	新型コロナによる行動の規制が続く中、令和3年の世界自然遺産登録や国の旅行支援等の実施により、奄美大島への入込客数は持ち直しており、観光客受け入れ体制の充実に向け、インバウンドの受入体制及び新たな旅のスタイルとして需要が高まったワーケーションの受入体制の整備に対する助成等を行った。			
奄美市	新型コロナによる行動制限が解除され、入込客数も回復傾向であることから、今後はこれまで実施してきた受入体制整備を活かしながら、貴重な自然環境について周知、理解を促進することで、環境の保全と利用の両立を図り、インバウンドも含め、誰もが楽しめる観光を目指し、その推進に取り組む。							
33	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	体験事業・交流イベント開催による受入人数				
	大和村観光機能向上事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
	R 3 ~ R 5		値	1,868 人	3,000 人	975 人	32.5%	×
	事業主体		今後の取組方針	評価	コロナ禍の影響により、積極的な受入ができない状況から、アフターコロナを見据えた観光情報の発信と集落歩き看板の設置を行った。また、外貨獲得を図るため、加工品の商品パッケージ作成を実施した。			
大和村	新型コロナウイルス感染症の規制緩和に伴い、今後観光客の増加が期待されることから、本村の情報発信による誘客の促進と観光外貨を稼ぐための取り組みを加速させることにより、地域循環の観光振興を図る。							
34	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	宇検村の観光拠点施設への訪問者・問合せ数				
	持続可能な観光による地域デザイン計画策定事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
	事業実施年度		年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
	R 4		値	37,373 人	40,000 人	37,441 人	93.6%	△
	事業主体		今後の取組方針	評価	イベントの開催などにより積極的な誘客活動も行われており、施設の知名度向上に繋がっている。			
宇検村	村観光物産協会を中心とした様々なイベントの開催による誘客活動を行っていく。							

35	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	喜界島への入り込み客数				
	島の魅力発信事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	60,418 人	70,000 人	43,772 人	62.5%	×
	事業実施年度		R 4	評価	4本の映像を制作し、公式Youtubeでの再生回数が4本合計で563万回再生され、各メディアに掲載されたり様々なコメントもあり、認知度向上につながった。			
事業主体	今後の取組方針	広告配信を継続して行うことが大事であるが、予算の措置ができていない。一過性のものにならないように映像をうまく生かしながら島の認知度向上と魅力発信につなげたい。						
喜界町								
36	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論島への入込客数				
	デジタルマーケティング事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	72,000 人	90,000 人	51,258 人	57.0%	×
	事業実施年度		R 4	評価	Youtube広告に加え、Facebook広告、Instagram広告といったメディアMIX型による配信を実施。訴求力の高い動画とInstagramは相性が良く、多くのフォロワー獲得に繋がった。また、町民を対象に撮影技術講習やSNSマーケティング講座、SNSにおけるトラブルへの対処法・予防法講座を開催し、自発的な情報発信や写真動画作成技術の底上げを図った。			
事業主体	今後の取組方針	冬場のヨロン島の魅力を十分に発信できていない課題があることから、次年度以降は冬場のヨロン島の魅力発信に取組み年間を通した来訪誘客を図っていく。						
与論町								
37	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	星空等ツアープログラム数				
	ヨロン島地域資源活用事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	0 件	10 件	5 件	50.0%	×
	事業実施年度		R 2 ~ R 5	評価	HPIによるツアー販売の実施、ガイドスキルアップ講座、光害対策や島民の意識醸成などに取り組んだ。			
事業主体	今後の取組方針	体験プログラムツアーの総合受付窓口を整備し、これまで育成したエコツアーガイド等のスキルアップ支援を行い、ツアー案内可能なガイドの育成を図る。						
与論町								
38	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	沖縄県から和泊町への入込客数				
	北山文化圏ロード構築事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 28 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	14,288 人	18,000 人	14,979 人	83.2%	△
	事業実施年度		R 元 ~ R 4	評価	新型コロナウイルス感染症拡大の影響も徐々に緩和されてきており、入込数も回復してきてはいるものの目標を下回った。那覇市及び今帰仁村でのプロモーション活動を2年ぶりに実施することができた。R5以降の入込客数の増加に期待する。			
事業主体	今後の取組方針	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2年連続して沖縄向けのプロモーション活動が中止となっているが、今後の動向を注視しながら実施を検討する。						
和泊町								
39	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	本部港からの入込客数				
	与論町・国頭村連携遺産ロード構築事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	9,000 人	11,000 人	5,378 人	48.9%	×
	事業実施年度		R 元 ~ R 4	評価	沖縄県国頭村との連携による物産フェアやPRイベントを開催するとともに沖縄北部～ヨロン島周遊観光PR動画制作により沖縄北部地域からの誘客を図った。			
事業主体	今後の取組方針	国頭村との連携によるイベント等のPR活動、広域観光ルートの構築による域外からの観光客の誘客を図るとともに、両町村の民間団体や住民等の交流促進を図ることにより、同地域からの来島者の増加につなげる。						
与論町								

40	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美スポーツキャンプにおいて、来島宿泊する延人数					
		奄美市 スポーツキャン プ誘客拡大事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
		事業実施年度		年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
		R 3 ~ R 5		値	12,000 人	13,000 人	14,372 人	110.6%		○
		事業主体	今後の取組方針	評価	スポーツキャンプを通じた交流人口の拡大に向け、チームのニーズにきめ細やかに対応した。また、キャンプの継続に向けた国内主要大会におけるキャンプチームの激励と合わせて本市の特設ブースを出展し、情報発信に努めるとともにさらなる誘客拡大を図った。					
	事業主体	奄美市		今後の取組方針	これまで培ったチームとの関係をキャンプの継続実施に繋げるとともに、誘客拡大に向けた取組についても引き続き実施し交流人口の拡大を図る。					
41	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美スポーツキャンプにおいて、来島・宿泊する延人数					
		奄美市 スポーツキャン プ誘客拡大のためのス ポーツ施設整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
		事業実施年度		年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
		R 3 ~ R 4		値	12,000 人	13,000 人	14,372 %	110.6%		○
		事業主体	今後の取組方針	評価	「スポーツキャンプ誘客拡大事業」に合わせ、スポーツ施設を整備し目標を達成した。					
	事業主体	奄美市		今後の取組方針	誘客拡大に向けた取組についても引き続き実施し交流人口の拡大を図る。					
42	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	インターネット塾受講人数(累計)					
		ICTを活用した教育推 進事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
		事業実施年度		年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
		R 2 ~ R 5		値	13 人	53 人	9 人	17.0%		×
		事業主体	今後の取組方針	評価	引き続き全3学年を対象に前年度と同じく3年生には受験対策を図り、1・2年生には基礎学力の向上を目指して、例年通り開講する予定であったが、コロナ禍の影響により授業様式を集団から個人へ変更を行った。環境の変化はあったものの、生徒が勉強に向き合う環境作りをしたことで、今後の生徒の「人間力」の向上に繋がることが期待出来る。					
	事業主体	大和村		今後の取組方針	R4年度は実績として参加人数は増加したものの、本事業を開始したH29年度と比較すると参加人数は減少傾向にある。今後、本事業の方針や生徒の「人間力」が将来において、必要とされる事を保護者に伝え、理解していただき生徒の参加を促す。					
43	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	留学生人数					
		奄美らしい離島留学推 進事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
		事業実施年度		年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
		R 元 ~ R 5		値	27 人	50 人	71 人	142.0%		○
		事業主体	今後の取組方針	評価	令和4年度の奄美群島の小学校・中学校・高等学校に留学する人数は71人であり、昨年度に引き続き中間目標値を上回った。					
	事業主体	奄美市外6町村		今後の取組方針	今後とも集落文化の担い手不足や小・中学校及び高校の存続、産業の担い手不足を解決するため、離島留学の取組を実施していく。					
44	番号	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	補助申請件数					
		奄美群島加工品販路拡 大実証事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定	
		事業実施年度		年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度			
		R 2 ~ R 5		値	0 人	32 人	32 人	100.0%		○
		事業主体	今後の取組方針	評価	令和4年度は32件の申請件数があり中間目標を超える実績となった。					
	事業主体	奄美市外6町村		今後の取組方針	周知を徹底し、申請及び助成件数増へとつなげ、事業者を引き続き支援することで、販路拡大の機会創出を図るとともに事業者の育成に繋げる。					

45	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	本場奄美大島紬協同組合による本場奄美大島紬検査反数				
	本場奄美大島紬生産流通活性化事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	3,874 反	3,874 反	2,960 反	76.4%	△
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	【R4年度】2,960反 (達成率参考)令和4年度目標3,874反に対する達成度は76%であった。 令和5年1月15日～16日:東京奄美会の賀詞交歓会とあわせて東京で新春販売会を行い、2反1,204,000円の売上や、大島紬への理解を深める機会の創出につなげた。 令和5年2月13日～15日:島外の和装関係者を対象にモニターツアー(産地見学会)を実施、16社24名に来島いただいた。年に1回の「本場奄美大島紬グランプリ」と同時開催して審査に参加いただき、今後の商品開発や情報発信につなげた。			
事業主体	奄美市							
奄美市								
R 3 ~ R 5								
46	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島チャレンジ事業への応募・提案件数				
	海洋教育を中心とした問題解決型学習による人材育成事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	0 件	3 件	4 件	133.3%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	人材育成講座(定員8名)を実施し8名が受講(2名途中辞退)。講座の成果発表会と合わせて実施したビジネスプランコンテスト(イノベームちゅAWARD2023)では8名が発表し、4名(4事業)を優良事業として選定するなど目標達成に向けて取組みを進めている。また、R3年度に選定された事業について資金助成及び有識者による伴走支援を実施。			
事業主体	与論町	引き続きPBLによる人材育成講座及びビジネスプランコンテストを実施するとともに、町内外の関係機関等と連携しながら起業・創業支援体制を構築し、人材育成・起業支援を実施する。						
与論町								
R 3 ~ R 4								
47	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ネコの不妊手術件数				
	ネコ対策事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	1,539 件	1,030 件	828 件	80.4%	△
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	令和4年度のネコの不妊手術件数は828件であった。未手術の個体数が減少していることより、実績が減少しているが、飼い猫の不妊手術、野良猫のTNR等を通し、ネコの自然増加を抑制し生態系保全の取組を推進することが出来た。			
事業主体	奄美大島5市町村 徳之島3町	引き続き関係市町村、関係機関との連携しつつ、猫の不妊手術を行っていく。						
奄美大島5市町村 徳之島3町								
R 元 ~ R 5								
48	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	パトロール1回当たりの希少種確認種数の積み上げ				
	奄美大島希少野生動植物保護事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	1,000 種	1,000 種	7,000 種	700.0%	○
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	パトロール員において希少種確認を行っており、年間を通じての確認種数は達成されている。			
事業主体	奄美大島自然保護協議会	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						
奄美大島自然保護協議会								
R 元 ~ R 5								
49	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	自然体験参加者の環境保全活動の取り組み率				
	徳之島希少野生動植物保護事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	0 %	40 %	32 %	78.8%	△
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	盗掘・盗採パトロールを行うとともに外来種の駆除を行った。また普及啓発を行い、住民等の環境保全に関する意識向上を図った。			
事業主体	徳之島3町	引き続き、希少種の生息状況及び生息地等について盗採防止のパトロール等を実施することで希少野生動植物の保護に努める。						
徳之島3町								
R 4 ~ R 5								

50	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	ノヤギの捕獲頭数				
	ヤギ被害防除対策事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	217 頭	165 頭	268 頭	162.4%	○
	事業実施年度		R 元 ~ R 5	評価	令和4年度のノヤギの捕獲頭数は268頭であった。野生化したヤギを防除することで、植生破壊や土砂崩壊による海洋汚染等を未然に防ぐことが出来た。			
事業主体	今後の取組方針	引き続きノヤギ捕獲により生息数の減少を図る。また、今後生息数の調査が検討されており、調査結果を踏まえ、事業効果の分析を行うこととする。						
市町村								
51	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	モニタリング調査を継続実施した箇所において、 ①サンゴ礁被度がH28(またはH28以降初めて調査した年(以下、「H28※」と表記))と比較して5%以上、上昇した箇所数の増加 ②サンゴ礁被度がH28※比で5%以上、低下した箇所数 ③サンゴ礁被度がH28※比で新たに60%以上となる箇所数				
	サンゴ礁保全対策事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値(①)	88 か所	120 か所以上	51 か所	42.5%	×
			値(②)	42 か所	11 か所以下	15 か所	136.4%	○
事業実施年度	R 元 ~ R 5	値(③)	31 か所	73 か所以上	33 か所	45.2%	×	
事業主体		今後の取組方針	令和4年度の実績はそれぞれ①51か所、②15か所、③33か所であった。オニヒトデ駆除数は減少傾向にあるが、引き続きモニタリングを実施し目標達成を図っていく。					
市町村及び奄美群島サンゴ礁保全対策協議会	モニタリング調査結果を踏まえ、サンゴ礁の被度の地域毎の傾向を分析しつつ、効果的な事業を実施していく。							
52	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量				
	奄美群島水産物流通支援事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	580 トン	643 トン	1,013 トン	157.5%	○
	事業実施年度		R 元 ~ R 5	評価	令和4年度の奄美群島から沖縄本島に移出する水産物輸送量は1,013トンであり、R3年度同様コロナ禍の影響により減少したものの中間目標値を上回った。			
事業主体	今後の取組方針	引き続き沖縄県の市場への出荷することにより、販路拡大を目指す。						
市町村								
53	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	受診患者件数				
	宇検村医療体制強化事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	4,000 人	4,800 人	6,239 人	130.0%	○
	事業実施年度		R 4 ~ R 5	評価	R5建設に向け、実施設計が終了。			
事業主体	今後の取組方針	R5は施設整備に着工。令和6年10月の開院に向けて事業を進める。						
宇検村								
54	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	『経済センサス基礎調査』の事業所数総数を指標とし、目標値は目標年度に公表される数値とする。				
	政策連携による多様な働き方モデル創出事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	2,672 件	2,670 件	— 件		—
	事業実施年度		R 4 ~ R 5	評価	個別事業の実績については、創業支援・フリーランス支援、ICT活性化など、人材育成やスキルアップに向けた支援を計画通り実施することができた。			
事業主体	今後の取組方針	民間事業者との連携や、各個別事業間の連携を図り、市内事業者やフリーランス、創業者などの求めているニーズ把握に努め、より内容の充実した人材育成等の支援を実施できるよう事業を展開する。						
奄美市								

番号	事業名		アウトカム指標	生産年齢人口(人数)				
55	Uターン促進事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
	値(①)		4,455 人	4,465 人	4,188 人	93.8%	△	
	事業実施年度		R 4 ~ R 5					
	事業主体							
瀬戸内町	R5年度も継続して事業を実施しUターン者の増加に努める。							
番号	事業名		アウトカム指標	与論町における生産牛飼養頭数の増加				
56	与論町敷料生産強化事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
	値		5,524 頭	5,600 頭	5,768 頭	103.0%	○	
	事業実施年度		R 4					
	事業主体							
与論町	敷料増産を図ると共に、畜産農家への敷料の使用を推進し、高品質な子牛の生産を図る。							
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における海面漁業の生産額				
57	奄美群島水産業活力向上プロジェクト事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
	値		10,170 百万円	10,382 百万円	9,005 百万円	86.7%	△	
	事業実施年度		R 元 ~ R 5					
	事業主体							
奄美群島水産振興協議会、市町村	シラヒゲウニ及びヤコウガイについては、これまで実証試験等で集積した知見をもとに種苗生産に関するマニュアルを作成し、要望がある地域が取組を行える体制の整備について検討を行う。併せて、資源回復や漁業生産の安定を図る取り組みについて検討を行う。							
番号	事業名		アウトカム指標	奄美群島における総生産額				
58	新型コロナウイルス感染症対策利子補給事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	平成 27 年度	令和 5 年度	令和 年度		
	値		322,597 百万円	344,123 百万円	百万円		-	
	事業実施年度		R 3 ~ R 5					
	事業主体							
市町村	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営に支障を来している者に対し、利子補給の支援を実施することで産業の活性化を図る。							
番号	事業名		アウトカム指標	あやまる岬観光公園来園者数				
59	あやまる岬エリア整備事業	成果 目標 及び 達成 状況	区分	基準年度	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
	値①		116,217 人	120,000 人	127,362 人	106.1%	○	
	事業実施年度		R 元 ~ R 4					
	事業主体							
奄美市	令和6年度で観光整備が終了予定のため、ソフト事業の拡充にシフトし周遊型観光の振興を図る。							

60	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	施設利用者数				
	大和村交流・関係人口 創出事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	100 人	100 人	33 人	33.0%	×
	事業実施年度		R 3 ~ R 5	評価	建物の工事期間が令和4年9月から令和5年3月末までであり、その期間の利用ができなかったため実績数が少なくなった。			
事業主体	今後の取組方針	令和5年度にWi-Fi整備を行い本格的にコワーキング施設の利用が開始するため、施設の広報等を行い利用促進を図る。						
大和村								
61	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	湯湾地区観光総合案内所への年間来訪者数				
	湯湾地区観光総合案内 所駐車場整備		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	0 人	6,000 人	37,441 人	624.0%	○
	事業実施年度		R 3 ~ R 4	評価	駐車場を整備したことにより、来訪者の利便性が向上し、来訪者の増加に繋がった。			
事業主体	今後の取組方針	施設使用者が駐車場を適正に利用するよう周知し、観光総合案内所を利用することで満足度向上と、村内での滞在促進を図っていく。						
宇検村								
62	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	瀬戸内町への年間入込客数				
	清水地区トイレシャワー 施設整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 3 年度	令和 4 年度		
			値	150,081 人	170,000 人	113,451 人	66.7%	×
	事業実施年度		R 3 ~ R 4	評価	新型コロナウイルス感染拡大による来島自粛等によって、入込客数が減少したが、今後は増加が見込まれる。			
事業主体	今後の取組方針	令和4年4月に完成し、5月から利用を開始した。癒やしの島を満喫できるように観光客の受入増加を図る。						
瀬戸内町								
63	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①加計呂麻島への入込客数(交流人口) ②ターミナル施設の利用者数(地域住民及び交流人口)				
	加計呂麻島ターミナル 整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	令和 元 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値①	46,736 人	50,000 人	40,157 人	80.3%	△
	事業実施年度		R 3 ~ R 5	値②	50,000 人	53,000 人	41,926 人	79.1%
事業主体	今後の取組方針	前年度と比較し入込客数が回復し増加している状況であるが、現在、施設建設に必要な地質調査及び実施設計を完了したところであるため、施設完成後において達成度の評価を行うこととしている。						
瀬戸内町								
64	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	喜界島への入込客数				
	旧荒木小学校改修工事		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	60,418 人	70,000 人	43,772 人	62.5%	×
	事業実施年度		R 3 ~ R 4	評価	サテライトオフィス、コワーキングスペース、フードコート等を整備した。			
事業主体	今後の取組方針	サテライトオフィスへの企業誘致に力を入れつつ、利用客の満足度向上を図る。						
喜界町								

65	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数				
	大和城観光地連携整備 事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	128,000 人	132,000 人	120,177 人	91.0%	△
	事業実施年度		R 元 ~ R 4	評価	施設の運用が開始され、利用客も増えつつある。利用者に快適に過ごしていただけるような運用・予算確保、島内外の認知度が低いため、PRにも工夫していきたい。			
事業主体	今後の取組方針	入込客数の更なる増加につながるよう、環境整備や観光地PR等の強化を図るとともに、世界自然遺産に登録されたことを踏まえ、環境と自然に配慮した事業推進を行う。						
天城町								
66	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	施設全体の利用者の延べ数				
	旧徳之島農業高等学校 55棟改修設計		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	1,000 人	1,100 人	1,568 人	142.5%	○
	事業実施年度		R 3 ~ R 4	評価	コロナ明けも重なり、来訪者が前年の3倍となっている。			
事業主体	今後の取組方針	R6年度中の改修を目指す。						
伊仙町								
67	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	徳之島への入込客数				
	あまぎ自然と伝統文化 体験館整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	128,000 人	132,000 人	120,177 人	91.0%	△
	事業実施年度		R 2 ~ R 5	評価	整備が本格的に開始。整備に併せて、施設運用へ向けた関係機関との協議の場を持ち、入込客数の増加に繋がるよう事業推進を図る。			
事業主体	今後の取組方針	繰越後は早期に事業着手に努めるとともに、年次的に事業推進できるような細部調整に努める。世界自然遺産に登録されたことにより、観光需要が高まることを見据え、多様な観光ニーズを的確に捉えつつ事業推進を図る。						
天城町								
68	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	①防災行政無線の整備率 ②防災拠点施設(避難所等)要修復箇所数				
	防災関連施設整備事業		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 30 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値(①)	58 %	83 %	100.0 %	120.5%	○
	値(②)		114 か所	41 か所	73 か所	178.0%	○	
事業実施年度	R 元 ~ R 5	評価	着実に要修復箇所の整備が進められている。					
事業主体			今後の取組方針	台風常襲地帯である奄美群島において、安全・安心な環境を整備していく必要性は高いため、引き続き事業を実施していく。				
奄美市外10町村								
69	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	与論町肥料化ラプセンター敷料出荷量(m ³)及び堆肥センター堆肥出荷量の計※堆肥出荷量についてはトン数をm ³ 換算する。				
	与論町資源循環型農業 促進事業		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 2 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値	3,982 m ³	4,500 m ³	4,516 m ³	100.4%	○
	事業実施年度		R 3 ~ R 4	評価	製造能力が向上し、目標値に達成することが出来た。今後の増産に向けて施設整備を併せて推進する。			
事業主体	今後の取組方針	施設整備を推進しながら、敷料生産強化・堆肥製造効率の向上を図る。						
与論町								

70	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	喜界島への入り込み客数				
	観光施設看板設置工事		区分	基準	目標(最終)	実績	達成度	判定
			年度	平成 29 年度	令和 5 年度	令和 4 年度		
			値	53,306 人	70,000 人	43,772 人	62.5%	×
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	主要観光スポット3カ所(百の台・スギラピーチー本道)へ、名称を示す看板を設置し、観光客に対して案内的役割と、SNSによる喜界町のPRを行った。			
R 3 ~ R 4	台風常襲地帯のため、台風対策などを十分に行い、看板保護に努める、また観光スポットと看板を絡めたSNS発信による喜界町のPRを図る。							
事業主体		今後の取組方針						
喜界町								
71	事業名	成果 目標 及び 達成 状況	アウトカム指標	施設利用者数				
	里久浜トイレ・シャワー施設等整備		区分	基準	目標(中間)	実績	達成度	判定
			年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度		
			値①	7,162 人	8,000 人	720 人	9.0%	×
	事業実施年度		今後の取組方針	評価	R4. 1月に完成。そのため、目標には達しなかった。今後、利用者増加が見込まれる。			
R 3 ~ R 4	令和4年度で、トイレ・シャワー施設を工期限内に完成することができた。今後、利用者が増える見込み。							
事業主体		今後の取組方針						
徳之島町								